

## 遠州トラック、TKCの協力のもとファーストアカウンティングの次世代 経理オペレーション基盤「Steward 新リース会計基準」を導入

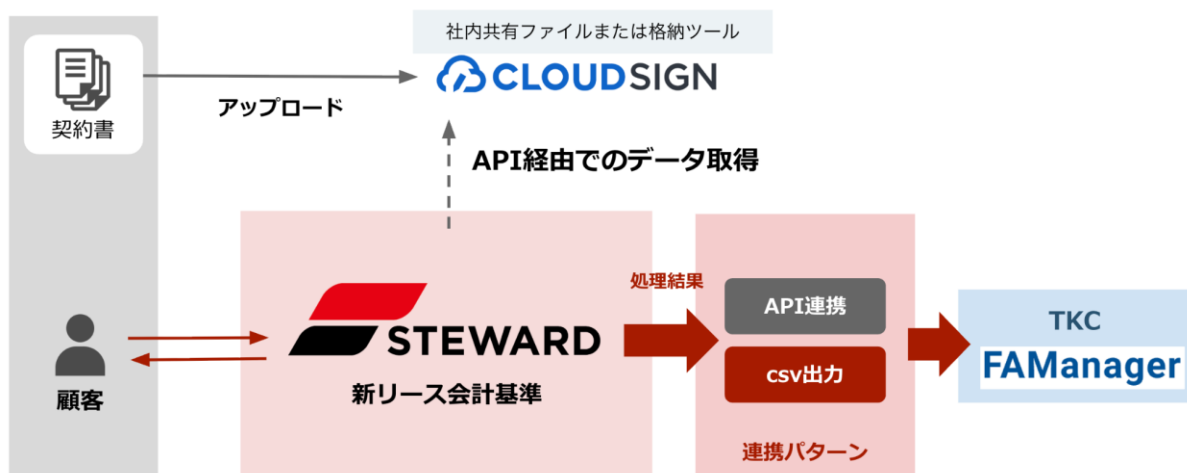
クラウドサインとの連携により契約管理とリース判定を一気通貫で実現、物流業界  
への導入を加速

ファーストアカウンティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森 啓太郎、以下 ファーストアカウンティング）と株式会社TKC（本社：栃木県宇都宮市、代表取締役社長：飯塚 真規、以下 TKC）は、このたび遠州トラック株式会社（本社：静岡県袋井市、代表取締役社長：金原 秀樹、以下 遠州トラック）にファーストアカウンティングの新リース会計基準対応ソリューション「Steward（スチュワード）新リース会計基準」が採用され、連携して導入をすすめることをお知らせします。

本件は、弁護士ドットコム株式会社が提供する契約マネジメントプラットフォーム「クラウドサイン」に格納される契約書データを活用することで実現しました。クラウドサイン上に格納される契約書データと連携し、AIを活用したリース契約判定を自動化し、TKCの固定資産管理システム「FAManager」へと連携します。

ファーストアカウンティングとTKCは、これまでも新リース会計基準への対応支援において協業を進めており、多くの企業への提案活動を展開しています。今後はクラウドサインとの連携をさらに強化し、特にリース保有契約数の多い物流業界をはじめとした企業の会計DX推進に貢献してまいります。

### Steward・新リース会計基準 - 構成イメージ -



## ■導入の背景

2027年4月以降開始する事業年度から適用が予定されている新リース会計基準では、従来以上に契約内容の精査が求められ、リースの識別や判定業務が複雑化します。

遠州トラックでは、契約書ごとの判定結果に担当者間で差異が生じる可能性や、監査法人への説明資料作成負荷などを課題として認識していました。新基準に沿った統一かつ客観的な判定を実現するため、AIを活用したシステム導入を検討していました。他システムとも比較した結果、契約書管理システムから固定資産管理システムまでシステム連携できるという点が決め手となり、ファーストアカウンティングのStewardが選ばれました。

## ■導入内容

今回導入した「Steward 新リース会計基準」は、契約書をAIが解析し、新リース会計基準に基づくリース判定や必要情報の抽出を支援するソリューションです。

遠州トラックでは、クラウドサインで管理する契約書データとの連携に加え、固定資産システムとのCSV連携をするべく現在は協議を進めています。契約情報の入力からリース判定、その後の資産管理までの業務を効率化し、人的ミスの削減を図ります。

導入初期は複数名体制で運用を進めますが、本格運用後は経理部門1名での運用を予定しています。また、契約書のアップロードについては総務部門約2名が担当し、部門横断で効率的な運用体制を構築します。

## ■遠州トラック株式会社の期待する効果

### 1. 新リース会計基準対応の効率化

AIによる契約書解析を活用することで、複雑なリース判定業務を標準化し、迅速な制度対応を実現します。

### 2. コスト削減

2026年10月以降、過去契約書のAI読込運用を開始することで、AI未導入時と比較して大幅なコスト削減効果を見込んでいます。

### 3. 業務品質向上

経理処理の均一化と事務作業の合理化を推進し、属人化の解消と正確性向上を目指します。

## ■TKC 執行役員 企業情報営業本部長 富永倫教 コメント

遠州トラック株式会社様には、TKC統合型会計情報システム（FX5クラウド）、TKC法人電子申告システム（ASP1000R）、ペポルインボイス対応システム（インボイス・マネジャー2026）、ならびに固定資産管理システム（FAManager）など、経理業務を幅広く支援する各種システムをご利用いただいております。

これにより、FX5およびFAManagerのデータがASP1000Rと連携し、消費税・法人税・償却資産税の電子申告を効率的に行える環境を構築されています。

新リース会計基準への対応においては、契約情報の把握からリース判定、固定資産管理システムへの登録、さらに決算・税務申告に至るまで、一連の業務を正確かつシームレスに遂行することが重要で

す。TKCでは、これまでも固定資産管理システム（FAManager）を通じて、こうした固定資産管理業務を支援してまいりました。

このたび、ファーストアカウンティング株式会社との協業により、契約書の解析から税務申告に至るまでの固定資産管理業務を一層効率化できる環境を提供いたします。

今後もTKCは、新リース会計基準への円滑な対応と、固定資産管理業務のさらなる高度化を支援してまいります。

[>>TKC連結グループソリューション](#)

## ■ファーストアカウンティング 代表取締役社長 森 啓太郎 コメント

今回の遠州トラック様への導入を通じて、弁護士ドットコム様、TKC様との連携による高い価値提供が実現できたと考えています。物流業界では、車両や倉庫設備、不動産など多様な契約を保有している企業が多く、新リース会計基準への対応ニーズは今後さらに高まると考えています。

当社はAI技術を活用し、契約書の解析からリース判定、会計処理までを支援することで、お客様の負担軽減と業務品質向上を実現してまいりました。今後も物流業界をはじめ、多くの企業の新リース会計基準対応を支援してまいります。

## ■ファーストアカウンティングについて

【経理シンギュラリティを実現し、経理の力を解き放つ】

ファーストアカウンティングは、経理シンギュラリティの実現を目指し、AI時代における経理業務基盤の構築に取り組む企業です。

企業活動、とりわけ経理業務において重要なのは、単に情報を処理することではなく、会計・税務・社内規程に基づいて業務を適切に確定し、責任を持って遂行することです。当社は長年にわたり蓄積してきた会計知識と業務知見を基に、AIと人が協調する次世代の経理基盤「Steward」を提供しています。

経理業務の効率化にとどまらず、経理パーソンが企業価値の向上に資する戦略経理に注力できる環境を創出し、「経理を利益の源泉へ」というビジョンの実現を目指します。

社名：ファーストアカウンティング株式会社（東証グロース：5588）

所在地：東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館 3階

設立：2016年6月

代表：代表取締役社長 森 啓太郎

URL：<https://www.fastaccounting.jp/>

事業内容：経理AI事業（会計分野に特化したAIソリューションの開発・提供）

- 経理オペレーション基盤『Steward』
- 経理業務のAIモジュール『Robotaシリーズ』
- 請求書処理のプラットフォーム『Remota』
- デジタルインボイス送受信サービス『Peppolアクセスポイント』

■本件に関するお問い合わせ

ファーストアカウンティング株式会社

担当：広報担当

E-mail: [press@fastaccounting.co.jp](mailto:press@fastaccounting.co.jp)

すべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。